

# 合成用システムの使い方

コンピュータアーキテクチャB用

天野

# ふんが研へのリモートログイン

[sirius.am.ics.keio.ac.jp](http://sirius.am.ics.keio.ac.jp)にログインする。

```
ssh -Y xxxx@sirius.am.ics.keio.ac.jp
```

xxxxは配布されたアカウント、パスワードを聞いてくるので配布された初期パスワードを打ち込む

- 配布されたアカウントとパスワードでログイン
  - パスワードはすぐに変更のこと
  - アカウント番号は忘れないで！
  - いい加減に配ったせいで人との対応が取れてない。

# 初めてログインした時だけやること

## パスワードの変更

`passwd`

と打ち込んで紙にあるパスワードを新しいパスワードに変更、これは忘れないこと

## 環境設定

`ln -s /home/vdec/script/.setup_vdec.sh`

`ln -s /home/vdec/script/.pre_setup_vdec.sh`

`ln -s /home/vdec/script/.post_setup_vdec.sh`

`.bashrc`の中に、

`alias cad='source ~/.setup_vdec.sh'`

というエイリアスを入れておくと便利

# ファイルの転送

ITCのマシン→sirius

ITCのウィンドウで

scp file名 [usr名@sirius.am.ics.keio.ac.jp:~/](mailto:usr名@sirius.am.ics.keio.ac.jp)

逆の場合は

scp file名 usr名@ loginXX.user.keio.ac.jp:~/

tar, emacsは普通に利用可能だが、emacs -nwとやってリモート  
ウィンドウを上げない方が賢明

# dc\_shellとdesign\_visionの実行

- ログイン直後に以下を行う  
source ~/.setup\_vdec.sh
- エイリアスをしていれば  
cad  
で上と同じことをやってくれる
- デザインコンパイラの起動  
dc\_shell-t -f mipse.tcl | tee mipse.rpt  
mipse.rptを見てErrorが出ていないことを確認！  
実はmakeで上のコマンドが動くことになっている
- 合成後の回路図を見るツールdesign\_vision  
design\_vision &

# 反省して変えたこと

- タイミングレポートはクリティカルパス1本だけにした。
- レポートはファイルを分けた
  - タイミングレポート：timing.rpt
  - 面積のレポート：area.rpt
  - 電力のレポート：power.rpt
- そうはいつでもmipse.rpt中にErrorがないことだけは確認して！